

団体名	特定非営利活動法人 日本レスキュー協会		
所在地	兵庫県伊丹市		
事業名	災害時要配慮者支援と防災減災の仕組みの強化 (副) 特にペット飼養世帯(人)の安心安全につながる避難所の拡大と充実		
事業概要	佐賀県と福岡県を対象とした本事業は、災害時に避難所の利用が難しいペット飼養世帯を支援し、彼らの安心と安全を確保することを目的とする。能登半島地震ではペット飼養世帯に対する避難所の備えが不足しており、多くの世帯が困難な避難生活を余儀なくされた。この課題を解決するため、ペット同伴可能な避難所の設置や避難所運営体制の強化に加え、要配慮者に対する支援のあり方などの必要な検討を進める。 ■取り組み内容 ①ペット同伴可能な避難所の新たな設置に向けた活動と既存避難所の充実・モデル化 事前にペット飼養世帯が利用できる避難所を整備する。適切な設備基準を策定し、ペットと飼い主が共に安心して避難生活を送れる環境を構築。 ②避難所ルールの策定 ペットと人が共存するためのルールやガイドラインを行政・避難所運営関係者・住民と協議し、衛生管理等の対策などを整備する。 ③専門的支援体制の構築 福岡県獣医師会との連携により獣医師や避難所運営関係者を対象に、災害支援に必要な知識や実践的ノウハウを提供する研修を実施し、被災者の身体的精神的サポートを提供。また万が一在宅避難を課せられた被災者(要配慮者等)への支援の充実を図る。 ④官民及び関係者連携の推進 行政、社会福祉協議会、NPO、今回は特に企業が参画協力することで、物資、マンパワー、ノウハウなど不足する資源を補完する。 ■企業を担い手に加える ペット関連企業は、平時から避難所での最低限必要な物資を備蓄するため、本事業期間中に「ペット避難用備蓄パッケージ」を開発する。このパッケージは、ケージ、フード、トイレ用品、衛生用品等含み、災害時に迅速に導入可能な形で整備される。また、事業終了後も備蓄の管理・更新を主導し、支援の継続性の担保を期待する。これにより、企業は災害時の信頼される支援の担い手としての地位を確立すると同時に、地域社会への貢献を果たす。 期待される効果： ペット飼養世帯の避難環境が向上することで、災害時の安心感と安全性が高まり、地域全体の防災力が向上します。また、本事業を通じて構築されるモデルケースは他地域への展開が可能となり、全国的な災害支援体制の強化に寄与します。		
事業期間	2025年3月～2027年2月		
対象地域	佐賀県・福岡県		
助成額	助成金	42,000,000 円	
	管理的経費	5,034,188 円	
	直接事業費	34,965,812 円	
	評価関連経費	2,000,000 円	

審査委員
評価

ペットを飼育している世帯を対象とした支援という視点は、とても独自性があり、意義のある取り組みとして高く評価いたします。一方で、特にペットを飼育している高齢者や要配慮者など、避難が困難な方々への支援については、具体的な計画や記載がやや足りないのではと感じられました。たとえば、避難所に行けない世帯がどのように支援を受けられるのか、その方法や目指す成果を、より具体的に示していただけると、計画の実効性が高まるものと思われます。また、対象地域において事業運営に必要な人材を確保し、実施体制の整備が進むことで、より効果的な支援につながると考えます。加えて、地域の社会福祉協議会など関係機関との連携を強化し、支援体制を構築していくことも有効ではないでしょうか。これらの点にご留意いただき、より実効性の高い計画となることを期待しています。

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております。